

富山県高P連会報

第 109 号
2013.9

編集発行
富山県高等学校PTA連合会
発行人 会長 毛利一朗
富山市千歳町1-5-1
富山県教育記念館41号
TEL 076(432)2810
FAX 076(432)1501



故事から習う

富山県高等学校PTA連合会
会長 毛利一朗

富山県高等学校PTA連合会会長も五年目を迎えました。まさかこんなに長く務めるとは予想もしていませんでしたが、いよいよラストスパートに入ってきました。

先日、小中学校の富山県PTA連合会との役員懇談会がありました。そこで話題となったのは、ネット社会における弊害です。子どもたち特に高校生におけるスマートフォン普及率は、想像以上に高いものでした。そこで起こる問題は、別の機会にするとして、私たち保護者は、どのように向き合っていくか、と言うことだと思えます。持たせるのは保護者の責任の範疇なのですから。よくよく考えて持たせて頂きたいと思えます。話は変わりますが、「かわいい子には旅をさせよ」と言う故事があり

ます。高校生はまさにその準備段階にあると思っています。卒業すれば多くは親元を離れ、自立した生活(経済的には無理でも)を送らなければなりません。一緒に生活をして育てる最後の機会になると覚悟しています。小学校から中学校、そして高校へと進学し、自分でできること、そして判断することを少しずつ増やしていく、その最終段階にあると思えます。先のスマートフォン・携帯電話の問題にしても、持たせないという選択肢もありますが、保護者が責任を持つて持たせて、目の届く内にネット社会とのつきあい方を指導することも大事だと思えます。もう一つ故事から「孟母の三遷」というものがあります。子どもを育

てる環境を選ぶのに孟子の母親が三回引越をしたことからきた言葉ですが、子どもは、置かれた環境に影響を受けやすく、環境を選ぶことが大事だという教えと理解しています。孟子の母親のように、環境を選ぶために引越すことはなかなかできませんが、環境を整えることはできると思っています。全国の会議に出席する中で、各県の会長と会話していると思うことは、富山県は比較的子育ての環境が整備されているという事です。それは、多くの先輩方や、教育関係者の方々が作ってこられたものであり、変化する社会、特に、ネット社会の弊害や、不安定な社会情勢の中で、私たちPTAは、先生方と協力して、子どもを見守りながら、常に環境を整備し続けていくことが大事だと思えます。

最後になりますが、日頃から富山県高等学校PTA連合会の活動に、理解と協力頂いていることに感謝申し上げます。

平成25年度定期総会開催

6月4日、富山電気ビルにおいて、平成25年度県高P連の定期総会が230名の参加を得て開催され、新役員が次のとおり選出されました。

顧問 大橋聡司
会長 毛利一朗(富山)

副会長

- 林 久嗣(魚津) 榊田隆二郎(富中)
- 長谷川徹(高岡) 西能 徹(砺波)
- 木下 晶(富山)

会計監査

- 竹中敏一(富商) 谷口克哉(石動)

P側理事

- 松田 学(入善) 富川義之(魚工)
- 黒田 雅英(滑川) 織田伸一(富工)
- 泉 秀樹(富東) 折橋茂幸(大門)
- 上野 進(高商) 萩山峰人(氷見)
- 藤井栄治(砺工) 前川喜男(礪籾)

T側理事

- 國 香正稔(魚津) 開 宣之(滑川)
- 川腰善一(富中) 黨流谷正博(富工)
- 沖 幸雄(富東) 佐倉正樹(高岡)
- 伊東与二(高商) 森田慎一(氷見)
- 清水 稔(砺波) 藤田 栄(礪籾)
- 角間匡之(小矢部園芸)

幹事

- 石浦作典(魚津) 伊井朋幸(上市)
- 松本 健(富中) 麦谷直人(富商)
- 堂口 諭(水橋) 今井亜矢子(小杉)
- 松平健二(志貴野) 宮岸 毅(氷見)
- 谷内浩仁(砺工) 森田喜邦(礪籾)
- 尾崎秀一(雄峰) 清水好勝(事務局)



共学共育

―他校のPTA活動に学ぶ―

桜井高校PTA

「家庭・学校そして、地域とともに生徒たちの育成・目標達成をめざして」

本校PTA役員組織は会長1名、副会長（3年生）2名（2年生）3名（1年生）3名、常任委員15名（各学年5名）、書記2名、会計監査2名、顧問2名、学年委員30（各学年10名）の計60名です。

会長、書記、会計監査、顧問、学年委員以外の23名が広報、研修、生活指導のいずれかの委員会に所属し諸活動を行っています。

広報委員会では生徒、保護者にPTAだよりを通して学校での活動内容、各行事の案内・報告、進学・就職の状況を知ってもらい今後に生かしてもらえよう活動しています。

研修委員会では、PTA講演会・PTA職業講話・大学見学会・授業等の参観などがあります。



役員会

前年度は、大学見学会（富山大学、富山国際大学、富山県立大学）とPTA研修会（マインドマップ）を行いました。

生活指導委員会では、平成十二年より

マナー向上の一環として、夏と秋の年2回さわやか運動を行っています。



さわやか運動

また、生徒とともに参加し、地域の方々・生徒と元氣なあいさつを交わしています。また、学校保健委員会への参加も行っています。

また、平成24年度からは「育成会」を組織し、生徒たちの学力向上及び進路目標達成のために活動しています。

今後も生徒たちの一助となるよう取り組んでいきたいと考えています。

桜井高校PTA会長 中井 秀成

中央農業高校PTA

「学校行事への参加とPTA活動」

本校のPTAは、顧問1名、会長1名、副会長4名、会計監査2名、庶務3名、委員10名の計21名です。

PTAの活動は役員会を年3回、総会とPTA研修会をそれぞれ1回

ずつ実施しています。例年PTA研修会は、借り上げバスで企業や学校を視察・見学するという内容で実施していました。年々参加者が減少し、係はどうすれば研修会への参加が増えるか、悩んでいました。

今年2月の役員会で、「学校の外へ出て、研修会を実施するよりも、学校のことをもっと知ってもらおう」という研修会にはどうだろうか。例えば、学校の行事に参加したり、学校の沿革や歴史、教育内容の説明をしてもらったりする研修会にすれば、経費もかからず保護者も喜ばれるように思いますが。」という意見が出されました。

本校は農業高校ですから、広い校地内に実習室、圃場、いろいろな作物や植物のハウス、動物舎などがあります。「子供たちが毎日どんなところでどんな実習をしているのか、実際に見学したい。」

という意見も出されました。



ヤギ舎見学

本校には、5月に意見発表会と春の農業祭という行事があります。意見発表会で最優秀賞をとると県大会から北信越大会、全国大会へと出場することが可能になります。生徒の

意欲・関心は高く、熱の入った発表会になります。

この発表を保護者にも聞いてもらおうということになりました。当日の午後

に実施される春の農業祭では、生徒全員でバーベキューを楽しむのですが、これに保護者も加わり、その後学校の沿革や歴史、生徒の学習状況についてプレゼンテーションを行い、更に学校内を見学しようという事に決まりました。

研修会への参加は急増し、当日は例年の5倍を超える保護者が来校されました。特に学校内の見学は、中農ウオッチングという名前で実施し、とても好評でした。

学校行事に参加することがPTA活動を活性化することにつながり、来年も是非実施したい活動になりました。

中央農業高校PTA会長 大西 仙泰

大門高校PTA

「子どもたちの健全育成のために」

本校PTA組織は、会長1名、副会長9名、監事2名、クラス役員



意見発表会

18名の合計30名で構成されています。会長を除く役員は、文化広報委員会、生徒・生活指導委員会、保健委員会に所属して活動を行っています。

文化広報委員会では広報誌を年3回（7月・12月・3月）発行し、諸行事で活躍する子どもたちの様子を紙面で紹介しています。今年度はより魅力的な広報誌を作るために紙面のカラー化を実施するなど新たな取り組みを進めています。また、毎年6月下旬には保護者を対象として県内や近県の大学視察研修を企画し、保護者自身が大学について情報を得て子どもと一緒に進学について考えるための啓発活動を行っています。卒業生との交流の機会もあり、毎回参加者からは好評を得ています。



大学研修

生徒・生活指導委員会では生徒の交通安全意識の高揚や、健全な心身の育成を目指して学校と協力して活動を進めています。



さわやか運動

ます。年に2回行われる「さわやか運動」でもPTA役員が教職員や生徒会執行部、各クラスの係生徒と一緒に、生徒玄関前での朝のあいさつ運動などの取り組みを行っています。保健委員会では生徒の健康・安全に関することや学習環境の整備などを通して、生徒の心身の健全育成を支援しています。24年度には子どもたちを取り巻くケータイ・ネット環境の現状を理解し、ネット上でのトラブル事例から家庭や学校における具体的な対処法や予防法を学ぶことを目的に、保護者を対象とした外部講師による研修会を開催しました。

本校では従来、4月末の平日午後PTA総会を開催してきましたが、総会開催日を5月中旬の土曜日に実施できるように調整を進めています。このことにより、PTA活動に対するより多くの保護者の方の関心が高まることが期待できると考えています。また、年度末にはPTA役員が学校の教育活動について話し合う機会を設け、そこで出された意見を学校側に提言しています。

今後とも学校や地域と連携、協力しながら、PTA活動を通して子どもたちの明るく、楽しい学校生活を後押しできるように取り組んでいきたいと考えています。

大門高校PTA会長

折橋 茂幸

新川地区指導者研修会

日時 6月18日(火)

会場 魚津高等学校

分科会と発表校

第1分科会 高校教育とPTA

新川みどり野高校 森 万里子会長

第2分科会 進路指導とPTA

滑川高校 黒田 雅英会長

第3分科会 生徒指導とPTA

泊高校 水野 弘会長

講演 「北陸新幹線とこれからのとやま」

富山国際大学教授

長尾 治明 氏

富山地区指導者研修会

日時 6月28日(金)

会場 富山いずみ高等学校

分科会と発表校

第1分科会 高校教育とPTA

中央農業高校 大西 仙泰会長

第2分科会 進路指導とPTA

富山南高校 古里 博人会長

第3分科会 生活指導とPTA

富山西高校 片岡 正吉会長

第4分科会 家庭教育とPTA

八尾高校 広瀬 修会長

講演 「高校生の心理と親の関わり方」

心理学・ライフ・ナビ・研究所

所長 飯田國彦 氏

高岡地区指導者研修会

日時 6月12日(水)

会場 ウイングウイング高岡

第1分科会 高校教育とPTA

高岡高校 長谷川 徹会長

第2分科会 進路指導とPTA

新湊高校 越後 裕会長

第3分科会 生徒指導とPTA

小杉高校 倉田 英介会長

第4分科会 家庭教育とPTA

大門高校 橋本雅清副会長

講演 ふるさとの自然誌

「卯の花の咲くころ」

富山県ナチュラリスト協会顧問

高岡市文化財審議会委員

泉 治夫 氏

砺波地区指導者研修会

日時 6月19日(水)

会場 小矢部市農村環境改善センター

分科会と発表校

第1分科会 高校教育とPTA

南砺福野高校 前川 喜男会長

第2分科会 進路指導とPTA

石動高校 谷口 克哉会長

第3分科会 生徒指導とPTA

南砺平高校 廣田 元伸会長

講演 「遺跡からみたとなみの国」

富山県埋蔵文化財センター

主任専門員 久々 忠義 氏

北信越地区高P連 研究大会新潟大会

平成25年度北信越地区高P連研究大会が「夢から志へ」をメインテーマに7月12日、13日に新潟市の新潟県民会館で開催され、北信越5県から会員約1300人、富山県からは151名が参加しました。

一日目は開会式に続いて、新潟中央高校器楽・管弦楽部による歓迎アトラクションと分科会が行われました。各分科会での本県発表者は次の方々です。



第1分科会

(高校教育とPTA)

「目指すは国際人へのパスポート」



伏木高校PTA会長 川向清克

第2分科会

(進路指導とPTA)

「本校の進路指導とPTA活動」



滑川高校PTA会長 黒田雅英

第3分科会

(生徒指導とPTA)

「地域の協力を生かした生徒指導」



南砺平高校PTA会長 廣田光伸

第4分科会

(家庭教育とPTA)

「PTA活動における活力ある取り組み」



八尾高校PTA会長 広瀬 修

二日目は、東京藝術大学学長で金工作家の宮田亮平氏による「夢を探そう〜自作を通して〜」と題する記念講演が行われました。枠にとられない自由な発想による活動を、ユーモア満載の語り口で紹介され、充実した一時でした。

その後、総務省総合通信基盤局の鎌田俊介課長補佐による「スマートフォンに関する説明」がありました。

閉会式では、次年度開催県である長野県の山崎康一会長より、次年度の大会を7月3日・4日に長野市で開催する予定であり、多くの参加を期待しているとの挨拶があり、閉会となりました。

第63回全国高P連大会

山口大会

「夢から志へ」

「たくましく生きるチカラを育むために、今、私たちができること」

をテーマに、第63回全国高P連大会山口大会が、8月22日に

山口市を中心に、全国から約一万人、本県からは百名余が参加し開催されました。



本年度の大会は、7会場に分散し、分科会のみでの大会であり、開会行事等は各会場への映像配信で行われました。

PTA活動振興功労者表彰などが行われた開会行事の後、安部首相のビデオメッセージ、下村文科大臣の基調講演「日本の教育の再生」がありました。

午後からは各会場での記念講演・分科会が開催されました。

閉会式では次年度開催県である福井県から挨拶があり、閉会しました。

参加者の声

ここ山口は松下村塾のあった地、萩市があるところ。大会オープニングはその地の明倫小学校生徒さんによる朗唱から始まった。



「志を立てて、もって万事の源となす書を読み、もって聖賢の訓をかんがう」など、一度は読み書きした文字を演壇の上から声高らかに幾度も唱え、会場にいた数千の、いや、七会場に分かれて聞いたであろう一万余千人の大人たちの心を捉え、震わせてやまなかった。

山口大会は実質一日の大会でありました。今までにない広範囲に分かれ会場を分散し、映像を中継し開会式が始まりました。山口県スポーツ文化センター・アリーナに下村文科科学大臣を始め、山口県知事山本繁太郎氏らをお迎えして開会式が執り行われました。基調講演では、下村大臣がパワーポイントを使い「日本

の教育の再生」を題材に、現在の教育に危機感を持っていることがわかる貴重な講演を行って頂きました。

砺波工業高校PTA会長 藤井栄治

平成二十五年表彰

▼PTA活動振興功労者表彰

(文科大臣表彰個人)

毛利 一朗(県高P連会長)

▼優良PTA文部科学大臣表彰

団体 砺波工業高校PTA

▼全国高P連大会会長表彰

団体 滑川高校PTA

小矢部園芸高校PTA

個人 北野 繁(前県高P連副会長)

中田正樹(前県高P連副会長)

▼北信越高P連表彰受賞者

開沢憲三(前県高P連会計監査)

旅 昭雄(前県高P連会計監査)

松嶋浩二(前県高P連理事)

吉澤 昇(前県高P連理事)

芹川 勝(前県高P連事務局長)

編集後記

今年の高P連大会のテーマは「夢から志へ」です。時代は変遷してもこの応援団としてのPTAの役割は変わることなく、を、その重要性を再認識させられる今年の高P連大会、全国大会でした。終わりに会報第109号の発行に際し執筆、寄稿していただいた皆様に感謝申し上げます。

(会報編集委員長 松田 学)